

ぐみざわちょうふきあげ
汲沢町吹上ヶ遺跡

横浜市戸塚区 No.119 遺跡



1.調査区全景



2. 近世 畝状遺構

● 主な調査成果

汲沢町吹上ヶ遺跡の主な調査成果を紹介します。近世では溝状遺構や土坑、畝状遺構等の耕作に関係する遺構が発見されました。調査地点は国道1号線沿いに所在しており、江戸時代も東海道にほぼ隣接していたものと考えられ、街道に隣接した耕作地として土地利用されていたことがうかがえました。

縄文時代では落とし穴や石鏃・石槍などの狩猟に関する遺構や遺物が発見されました。縄文時代の人々が狩猟の場としてこの地を活用していたことが想定されます。

これらの発見された遺構・遺物により、これまで不明であった横浜市南西部の歴史的・文化的な様相の一端を知ることができました。

- 調査期間 2018年10月1日～2019年1月31日
- 事業者 国土交通省関東地方整備局
- 調査原因 高速横浜環状南線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、奈良・平安、縄文
- 所在地 横浜市戸塚区汲沢町
- 遺跡位置 JR線・横浜市営地下鉄線戸塚駅から南西に約3kmの相模野台地上

